

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園 武蔵新城	種別：保育所
代表者氏名：園長 佐々木 佐津子	定員（利用人数）： 70名
所在地：〒213-0014 神奈川県川崎市高津区新作5-17-18	
TEL：044-982-0532	ホームページ： <a href="https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiuro/musashishinjou/index.html">https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiuro/musashishinjou/index.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員： 6名
専門職員	（専門職の名称）
	保育士： 13名 栄養士： 4名
	看護師： 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	8（給食室、事務室含む）
	（設備等）
	鉄骨造1階建て バリアフリー・オール電化

## ③理念・基本方針

こども理念

のびやかに育て だいちの芽

保育方針

みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛

信頼・安定・共感

\*めざす保育園像\*

○陽だまりのような保育園

○地域と共にそだつ保育園

○子どもと共に輝いていける保育園

## ④施設・事業所の特徴的な取組

保育目標

\*めざす子どもの姿\*

■自然を愛し、心身ともに健やかな子ども。

\*歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動をとおして、からだを動かすたのしさを知った子ども。

\*自然と親しみ、情緒豊かな心・知的興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、科学的に観察する力を持った子ども。

■自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども。

\*意欲・想像・を掻き立てられる環境の中で子ども自らが主体的に行動をし「やってみよう」と思える子ども。

\*様々な遊びや実体験を通じ想像力を養いながら、正しいと思うことが分かり、自分で行動する力、困難にも立ち向かい簡単にあきらめない心を持った子ども。

■「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども。

\*相手の人権を尊重し、思いやりのある子ども。

\*やさしく愛され見守られる中で、人を愛したり、やさしくすることに喜びをもてる子ども。

■自己を表現できる子ども

\*さまざまな生活の場面で、自分の思いを「自分らしく」表現できる子ども。

\*豊かな体験を通して物を見たり・感じたり・考えたりし、喜びや驚きを伝えられる子ども。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月17日（契約日）～ 2021年4月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成28年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

・地域に根付いた保育園として親しまれている

園で実施している地域の吹奏楽では、音が聞こえたからと地域の人が入ってくるようなフレンドリー関係が築かれている。JRの敷地であることから、鉄道会社も園に来たり中原電車区のイベントには招待されるなど交流の機会を持つことができている。商店会の清掃活動への参加によって商店会会報に園紹介してもらえるなど、地域に根付いた保育園として親しまれている。

・職員の主体的な取り組みを大切にしている

園内研修の議題・課題を会議の前に収集し、職員の主体性を大切に受け止め職員同士で切磋琢磨し意欲を引き出す風土が構築されていることが伺える。園内研修の成果を廊下に張り出し、職員の取り組みを保護者にも公開することで、保育園での活動への理解が深まるように取り組んでいる。

・子ども一人ひとりを大切に、年齢に応じた対応に努めている

保育指針の変更にともないプロジェクトチームを立ち上げ、園長・主任を中心とし「にじいろの保育」に沿って各クラスで保育を見直す機会を設けた。説明用の本なども準備し、必要な部分は特にピックアップして職員会議で伝えるなど、職員への理解が深まるような取り組みを行った。学びは現在も続いており、子ども一人ひとりを大切に保育につなげている。

◇改善を求められる点

・さらなる保育の質の向上を目指している

行事についてはコロナ禍の影響により例年同様ではなく、検討を重ねてより良い内容にしていくことに力を入れている。また、保育時間の長い子どもの遊びがマンネリ化しないように遊びを提供したり、玩具の配置や使い方に変化を持たせたりすることも検討している。個人目標と配慮については定期的に保護者に知らせているが、子どもの発達について共有化を図ることなど、さらに保育の質の向上を目指している。

・園独自のマニュアル作成について検討中である

子どもの安全安心に力を入れており、園の環境を考慮して一時避難場所を確保するとともに避難訓練なども進めている。職員が定着していることもあり、避難訓練の流れなどは体験的に理解している面もあるが、地域や環境を踏まえた園独自のマニュアルの必要性も感じており、保育ガイドを踏まえて必要とされる項目の作成にむけて検討している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて、自園の良い評価は引き続き力を入れていきたいと思った。  
また、更なる向上を目指したい。まだ経過途中にある「中長期計画」の評価に於いては、「事業計画」との連携を、具体的に文章化し、内容を明示していきたい。  
この度の「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」は今後の対策には「感染症対策」も視野に入れていきたい。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり